



南阿蘇村立南阿蘇中学校 学校だより

チャレンジ!

校訓
南 阿 蘇
Mission Action Sense
使命 行動 感性

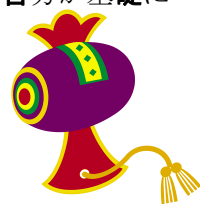
H28. 12. 22(木) No.15 文責 坂梨

二学期 無事に終業式を迎えました!

地震の影響で、例年より早くスタートした二学期も、授業日数89日を過ごし、今日無事に終業式を迎えました。気温の変化だけをみても、随分長い時間が過ぎたなと感じています。皆さんにとっての二学期…いかがだったでしょうか。二学期の締めくくりであると同時に、平成28年を締めくくる終業式では、まず、二学期の行事として2年生の修学旅行、1年生の集団宿泊教室、3年生が学校のリーダーとして牽引してくれた学習成果発表会や合唱コンクール、また、駅伝中体連や新チームでの各種大会等、学校行事や多くの教育活動の頑張りについて振り返りました。そして、先日、行なわれた平成29年度生徒会役員立ち会い演説会で立候補した14人の皆さん方が、それぞれに「南阿蘇中学校を更によくしていこう」と全校生徒に訴えてくれた素晴らしい演説について「誇りを持って、更に更にすばらしい南阿蘇中学校を目指して頑張ってください」ことを伝えました。

最後に「**何苦礎**」という言葉を取り上げて、締めくくりとしました。造語ではあるのですが、何と読むでしょうか? 「なにくそ」と読むそうです。この造語を作ったのは、メジャーリーグのカーディナルズで活躍した田口 壮選手です。決して、野球選手として順風満帆な歩みを残してきたわけではない田口選手ですが、努力を続け、ワールド・チャンピオンの称号を手に入れました。それまで彼自身がよく言われてきた言葉…「**何でも苦勞が基礎になる。**」という考えから思いついたのが、この「**何苦礎**」だったそうです。

冬休み中に新しい年を迎えることになります。皆さんの努力していることは決して裏切りません。今、取り組んでいる一つ一つのことが先々の基礎になることは間違いないと思います。すばらしい新年を迎えてほしいと願っています。どうぞよいお年をお迎えください。



生徒会役員選挙がありました。～お疲れ様でした!～

平成29年度生徒会役員立ち会い演説会及び選挙が、9日(金)に行なわれました。来年度、南阿蘇中学校のリーダーとして頑張っていこうと志を高くもってくれた新2年生6名、新3年生8名、計14名の皆さん方が、それぞれに自分の思いを全校生徒の前で意見発表してくれました。11月24日(木)に公示されて、約2週間という短い期間でしたが、朝早くから、また昼休み等の選挙活動等、寒い日も雨の日も選挙運動を頑張ってくれました。そして、立ち会い演説会でも、全員が心に響くメッセージを伝えてくれました。選挙ですので、14名の中から6名の皆さんが新役員として選ばれたわけですが、立候補してくれた14名の皆さんの思いを、次年度の南阿蘇中学校の更なる飛躍のためにつなげていってほしいと願っています。立候補者そして応援者の皆さん、本当にお疲れ様でした。生徒会執行部役員は次の通りです。南阿蘇中学校の牽引役として頑張ってください。

2年	丸山倫果さん	森山元氣君	桐原 樹君
1年	峰松拓未君	村松にやさん	高木優光さん



P T A講演会、授業参観等お世話になりました。

12月8日(木)の講演会、授業参観等、平日にもかかわらず多数の保護者の皆様方にご参加いただきありがとうございました。今回は、全国各地で教育講演活動を行っておられる”日本青少年育成協会主席研究員の小山英樹先生”をお招きして「子どもの心に届く言葉、届かない言葉」と題してお話を頂きましたが、いかがだったでしょうか？中学生は、心と体が著しく成長する時期でとても難しい年頃です。保護者の皆様方も日々悩みながら子どもさんと向き合っておられることと思います。そのような中、小山先生の話は、子どもの自立や成長を考えさせられるヒントになったのではないのでしょうか。先生の素晴らしい語りに時間が経つのも忘れ、笑い感動の中にも有意義な時間を共有でき、改めて自分自身が子どもにとってのコーチなんだと実感させられた一時でした。



絆の深まった二泊三日の集団宿泊教室でした！

当初の計画では5月末に実施予定でした1年生の集団宿泊教室でしたが、地震の影響で今回の実施となりました。出発の朝から少し天気が気になりましたが、国立阿蘇青少年交流の家での2泊3日のスケジュールをどうにか無事に終えることができました。入学して約8ヶ月が過ぎ、地震を乗り越え、また、新設校として多くの行事をとおして、成長する中にもいろんなことがあった2学期でしたので、とても中味の濃い充実した宿泊教室でした。バラエティに富んだプログラムが計画されていて、生徒たちもやる気満々で臨んだようです。全てのプログラムに、生徒たちは一生懸命取り組み、協力し合いながら乗り切る場面も多々ありました。心を一つに頑張ったことで、思い出深い、さらに絆の深まりを実感した3日間となりました。この学びを3学期へ、そして、2年生へ繋げていってください。お疲れ様でした。



「HUG」ってなに？



本校では、地震後改めて防災教育の重要性を再確認するため総合的な学習の時間を活用して「防災学習」に取り組んでいます。昨年度まで旧久木野中学校が取り組んできた防災教育をベースに国立防災科学研究所や熊本大学減災型社会システム等の専門機関と連携して研究を行っているところです。その中で、現在は「HUG」学習に取り組んでいます。「HUG」とは「H：避難所、U：運営、G：ゲーム」の略で、この取組をとおして避難所を上手に運営する方法を学ぶとともに、自分や大切な人の命を守り、将来的には「南阿蘇村民の命を守る」学習に繋が

ていくことを目指しています。今回の学習をとおして、未来の南阿蘇を担う人材育成になればと願っています。

人権集会がありました。

20日に行われた人権集会では、学年ごとにこれまでの取組をまとめて発表しました。夜に開催された劇では、おうちの方から聞き取った内容から話を組み立て、見事に演じ切りました。

